



## 新型コロナ対策の最中に中国公船の領海侵入は許せない



●5月13日に外務委員会が開催され、中国公船による領海侵入などについて茂木外務大臣と議論しました。

今月8日、中国公船が尖閣諸島周辺の日本領海に侵入し、日本漁船を追尾する事案が発生。新型コロナ対策で各国の協調、連携が求められている中で、中国の行動は断じて許されるものではありません。

習近平主席の国賓訪日は延期の状態にありますが、中国が信頼関係を損ねる行動をとるのであれば、一旦白紙に戻すべきと主張しました。

(今日の国会では地元の方に作って頂いたイカリマーク入りのマスクをかけています。)



## 台湾が世界保健機関（WHO）総会にオブザーバー参加できない理由は「中国の問題がある」

●また、WHOへの台湾のオブザーバー参加を働きかけるべき、との提案に対し、茂木敏充外相は、台湾の新型コロナウイルス対応について「感染者数、死者数を非常に低く抑えられており、国際社会やWHOが学ぶことは非常に大きい」と語り、総会参加を支持すると発言しました。更に、台湾が世界保健機関（WHO）総会にオブザーバー参加できない理由について「率直に言って、中国の問題がある。できるだけ台湾が参加できるように努力してみたい」と述べました。この質疑内容は、安倍首相が「中国」を明言していなかったこともあり、翌日にマスコミ数社で報道されました。

## 国際協力機構(JICA・ジャイカ)への支援強化を

●日本の国際協力の柱である国際協力機構(JICA)。国際社会でも極めて高い評価を受けている組織です。新型コロナ感染が世界中に蔓延し発展途上国でも拡大する中、約600名のJICA関係者が今なお現地にとどまり感染防止対策等の業務を行っています。

海外での新型コロナ感染が収束しなければ、日本経済の完全な回復はあり得ず、また来年のオリンピック開催も困難になってしまいます。

本当に厳しい状況の中で感染防止対策等の任務を遂行するJICA関係者の方々に心から感謝し、全力で支援してまいります。

